



開発時に構成管理Toolのブランチを有効活用して品質を高める

~構成管理Toolを利用したプロセス改善~

自己紹介

- 氏名：長橋 敦（ながはし あつし）
- 住所：静岡県三島市在住
- 出身：東京都大田区
- 趣味：釣り、登山、ゴルフ、弓道など
- 家族構成：妻 1 人、子供 2 人
- 業界歴：23 年
- 会社：ソフトハウス勤務
- 役割：プロジェクトマネージャ

はじめに

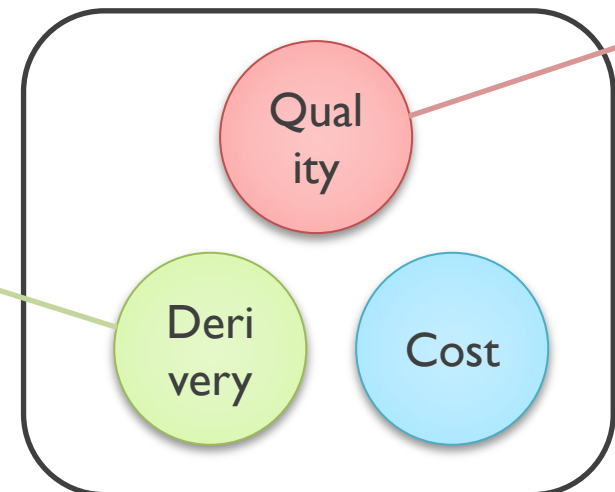
CAUTION!

- 本講演の内容は「構成管理をしよう！」的な内容ではありません。
- あくまで、プロセス改善のToolとして構成管理Toolを利用するだけです。
- したがって、構成管理Toolの細かな説明は割愛しております。

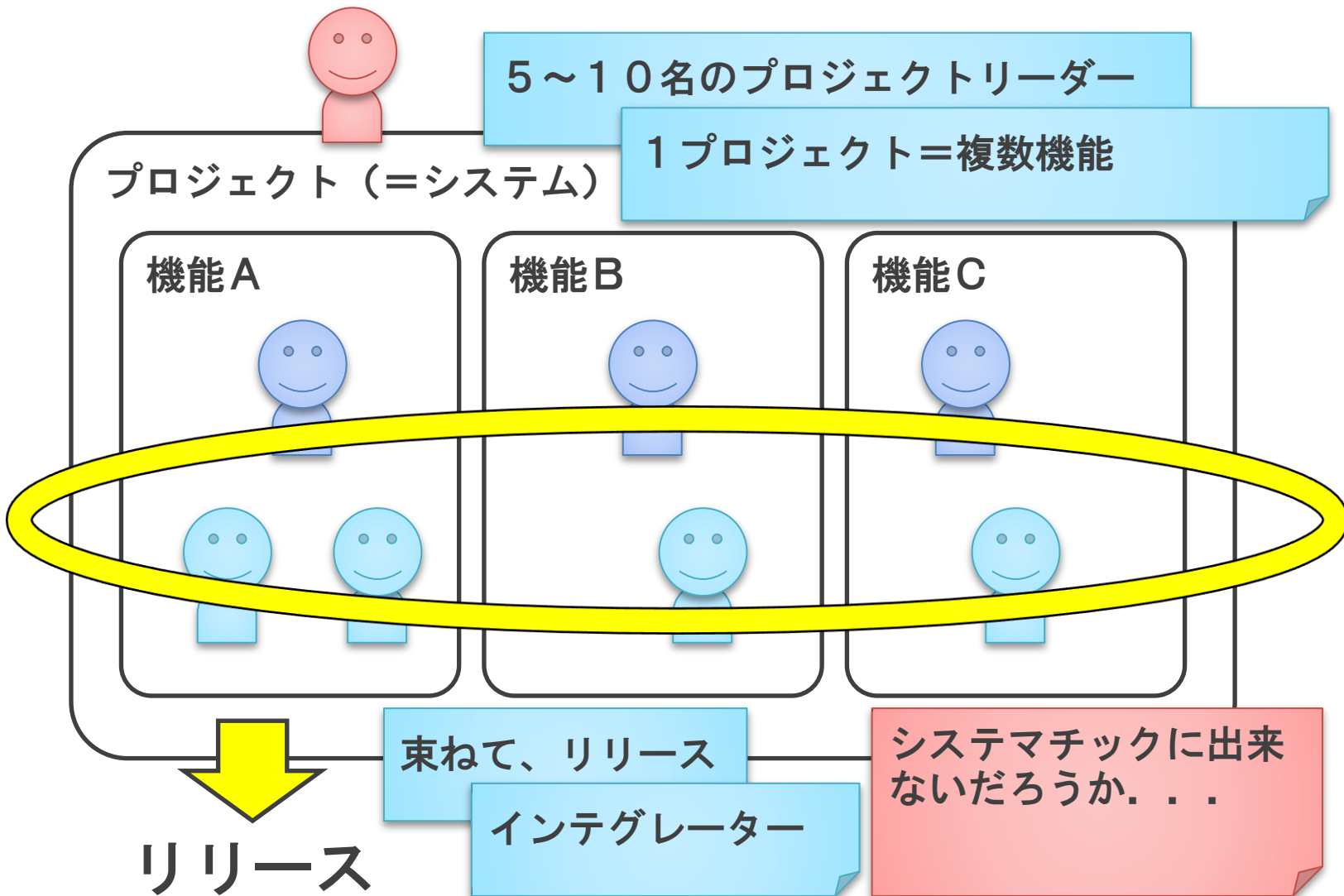
(発表内容の)観点

大きく 2 つあります。

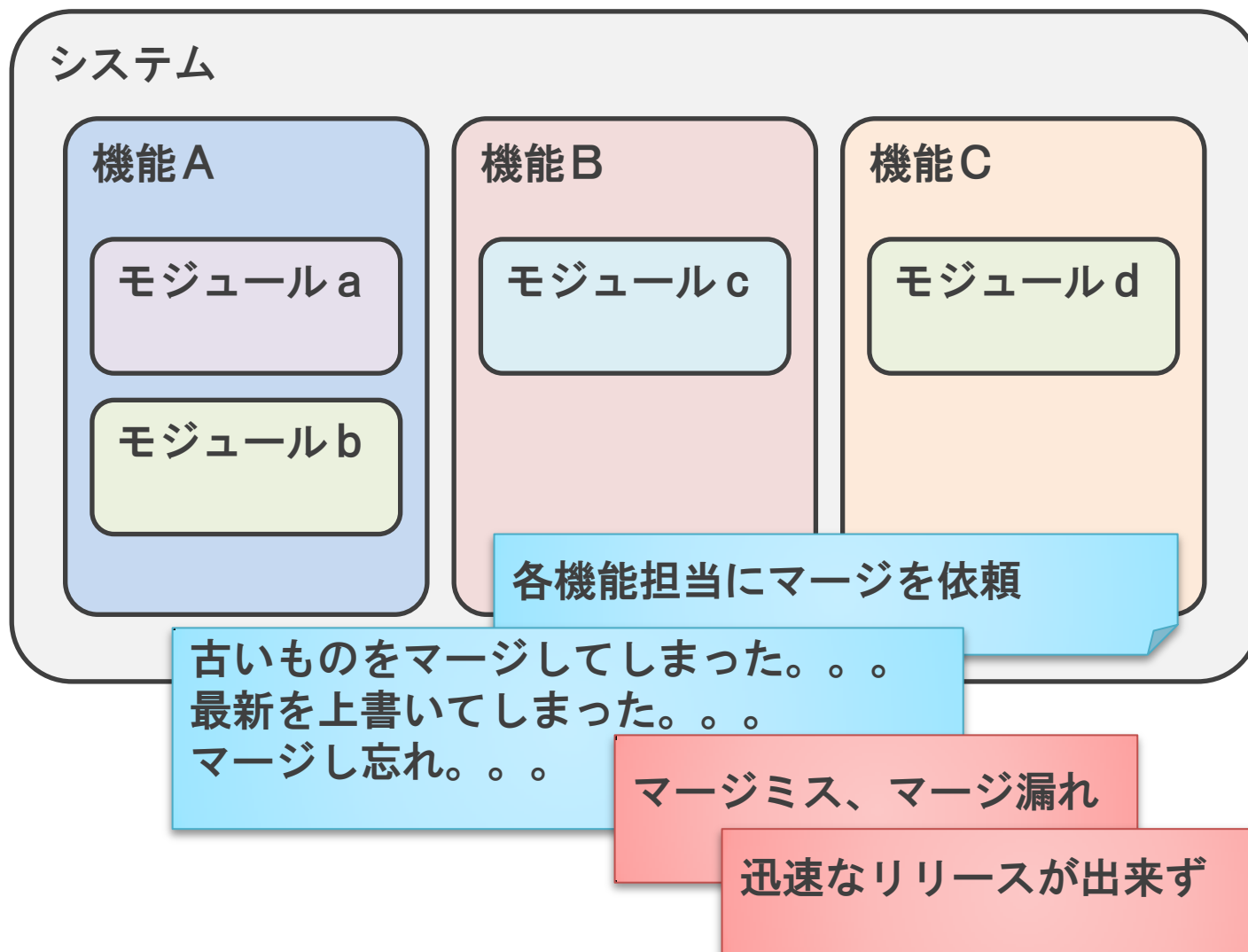
- システム構築時のマージミスの軽減
- 出来あがった機能から迅速に確認



背景（きっかけ）



改善前の状態



改善前の状態をもたらした原因

- なぜマージ時のミスは減らないのか？

自分が担当者から預かってマージする時にはマージミスは起こらないのになぜ？

ちょっとした意識の差がマージ漏れを招いているのでは？

CAUTION!

「自分がマージ上手である」とか「他人がいい加減に仕事をしている」という話ではありません。

改善前の状態をもたらした原因

マージ時に注意している点というと、

自分が作った機能でないので注意深くなれる（あれは不要？
これは修正しない？など）

マスターファイルがぐちゃぐちゃになったら大変

といった事を頭の中で考えていたことが判りました。

責任感か？

それであれば、

計画した変更内容

いくつかのルールを決めました。

- 構成管理Toolのブランチ機能を利用し、
- 各ブランチにブランチ責任者を決め、
- ブランチ責任者が責任をもってマージする

実際の運用

例

システム

機 A

モ a

モ b

機 B

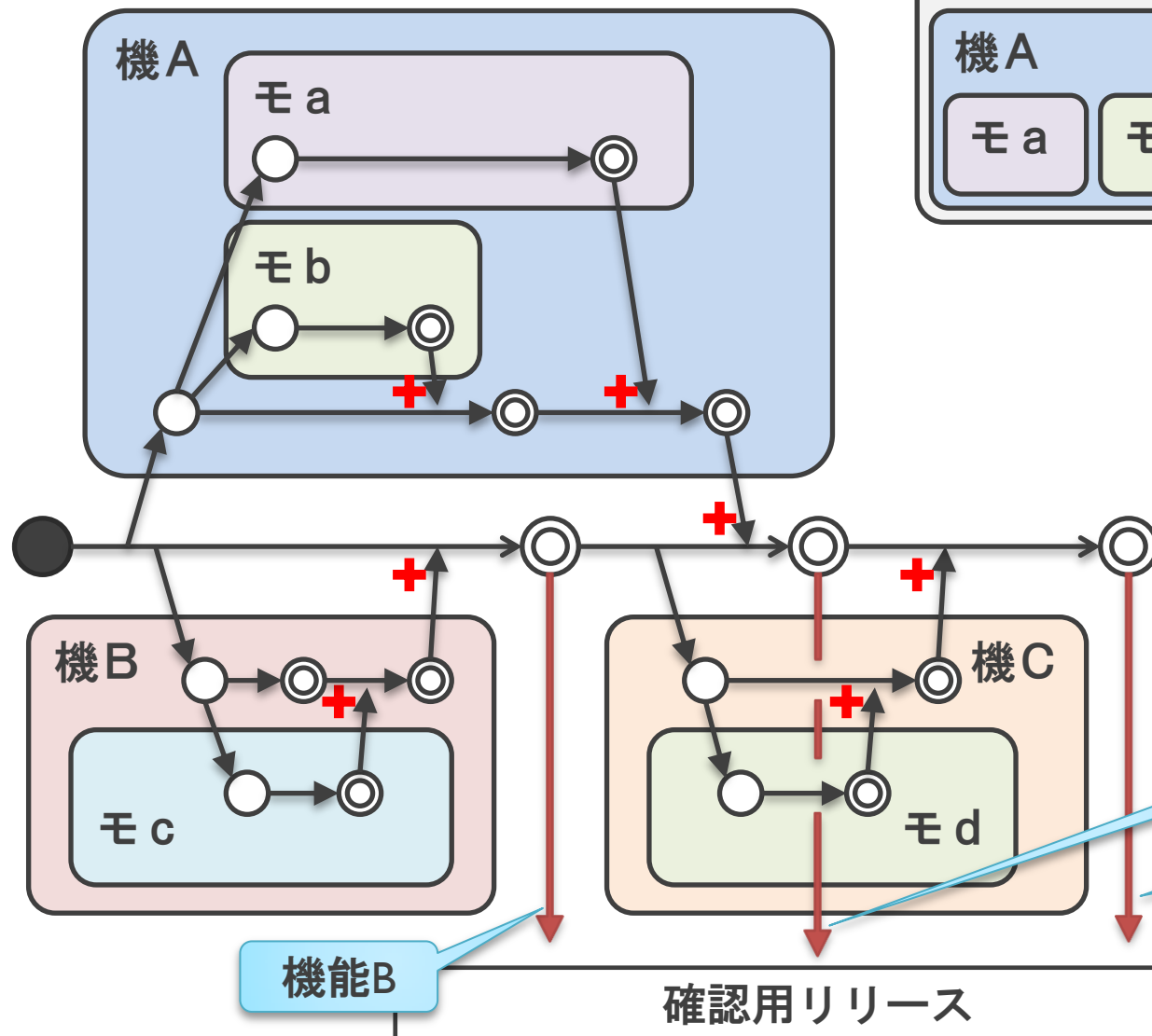
モ c

機 C

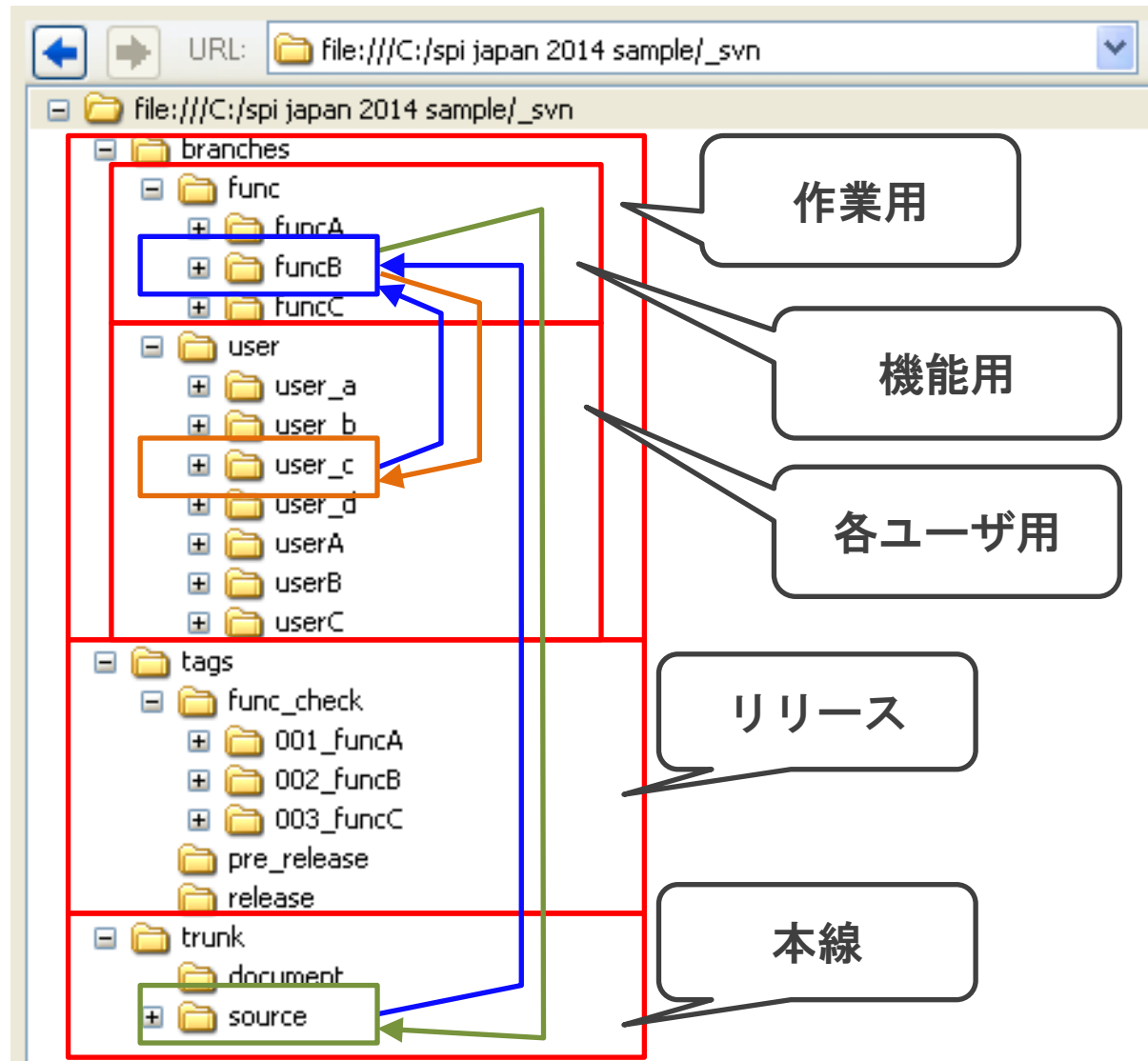
モ d

凡例

- : ベースライン
- : ブランチ
- ◎: 更新
- +: マージ



ブランチ構造のサンプル



改善効果

- マージミスの激減
- 出来あがった機能からの迅速なリリース（機能確認用、総合試験用 etc）

それと、

- マージ時のコードレビュー効果

思いもよらぬ「副産物」

改善効果の振り返り

- マージ作業は必ず「2人」で行います
ブランチ責任者のみで行うと、効果が半減します。

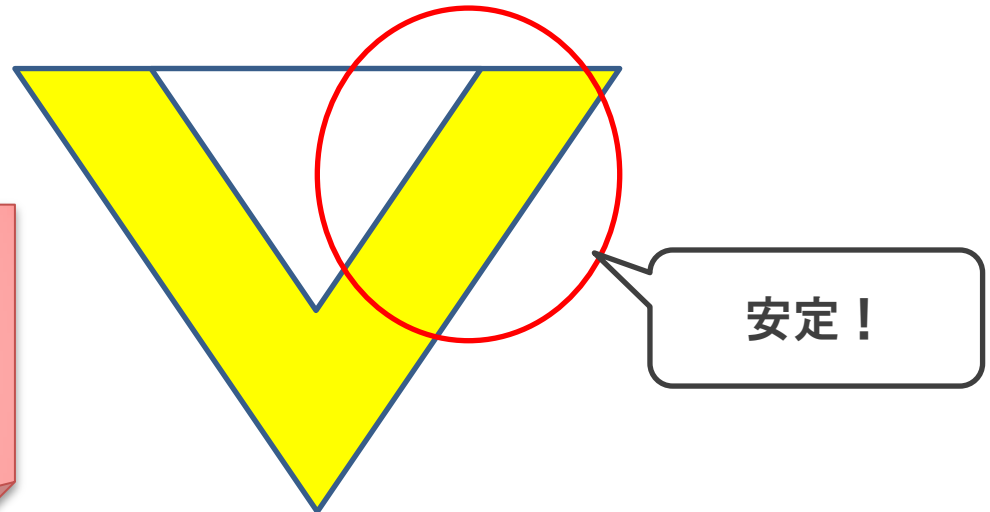
ならなら、マージする内容に不明点があっても「面倒だからマージしてしまえ」ということになり、意味がなくなってしまうからです。

一緒に行う事で「その場で聞ける」という「気軽さ」「手軽さ」が良いように感じます。

改善活動の振り返り

- マージ時のコードレビュー効果

このマージ時のコードレビューが功を奏し、デバグ時、評価事といった「V字の後半」がとても安定し「発見しづらい不具合」が減ったのも実感しています。



- コンパイラ
 - 文法チェック
- 机上デバグ、コードレビュー
 - **論理チェック**

今後の課題と発展

現在は、この仕組みを発展させ、ドキュメント、テスト結果（エビデンス）、レビュー議事録などの「OUTPUT」をマージ時に確認し、「プロセスの抜け漏れを仕組みでカバーする」といった事が進められればと考えています。

さいごに

一人でも多くの方のお役に立てればと思います。

ご清聴ありがとうございました。

